

井原市
教育便り

ともなび

2024.10
VOL.15

今回のともなびは、
子どもたちの学力の
状況などをお知らせ
します。



井原市マスコットキャラクター
でんちゅうくん

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から

1 学力調査の状況 (平均正答率%)

	小学校6年生		中学校3年生	
	国語	算数	国語	数学
井原市	66	61	58	49
岡山県	68	62	59	53
全国	67.7	63.4	58.1	52.5
県比較	▲2.0	▲1.0	▲1.0	▲4.0
全国比較	▲1.7	▲2.4	▲0.1	▲3.5

令和6年度の全国学力・学習状況調査は4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象とし小学校は国語、算数、中学校は国語、数学の科目で行われました。

国語について小学校では、「話す・聞く」「書く」の領域では全国値を上回りましたが、「読む」「言葉」に関する領域では全国値を下回りました。中学校でも「話す・聞く」「書く」の領域では全国値を上回りましたが、「読む」「言葉」の領域では全国値を下回りました。

算数・数学について、小学校では「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の全領域で全国値を下回りました。中学校では「データの活用」は全国値を上回りましたが「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の3領域では全国値を下回りました。

2 学習状況調査の状況 (※上段 肯定率% 下段 全国との差)

	質問事項		小学生	中学生
①	国語の授業の内容はよく分かる。		82.2 (▲4.1)	76.6 (▲6.1)
②	算数・数学の授業の内容はよく分かる。		81.0 (▲1.1)	80.1 (4.4)
③	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思う。		82.2 (0.3)	80.9 (0.6)
④	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う。		86.8 (0.5)	93.1 (7.0)
⑤	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていたと思う。		83.3 (2.5)	80.1 (2.2)
⑥	学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。		54.7 (0.1)	62.5 (▲1.8)
⑦	授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。(「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合)		20.9 (▲4.4)	33.3 (2.3)

○小中学校ともに「③授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思う。」「④学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていたと思う」が全国値を上回っている。各校で児童生徒が課題の解決に向けて自分で考えたり、友達と話し合う活動を通じて自分の考えを広げたりする授業づくりが進められていることがうかがえる。

○小中学校ともに「⑤学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていたと思う。」は全国値を上回っている。児童生徒が学習内容を振り返り次の学習につなげることができていたことがうかがえる。

○中学校の「⑦授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」は全国値を上回っている。授業の中でICTを使用する場面に適切に設定されていることがうかがえる。

△小中学校ともに「①国語の授業の内容はよく分かる。」は全国値を下回っている。また、小学校の「②算数・数学の授業の内容はよく分かる。」は全国値を下回っている。基礎的な基本的な問題の正答率が低いことから、基礎基本の定着を念頭に置いた組織的な取組が必要である。

△小学校の「⑥学校の授業時間以外に、1日あたり1時間以上勉強している。」は全国値と同等であるが、減少傾向にある。また、中学校の数値は全国値を下回っている。児童生徒が主体的に家庭学習に取り組むための工夫が必要である。

調査結果を受けて、今後の主な対応

- (1) 基礎基本の確実な定着を目指した「わかる・できる」と感じられる授業改善の推進
- (2) 調査結果の誤差分析並びに、授業で扱う学習内容についての検討
- (3) 基礎基本の定着やつまずきの解消を図るための組織的な取組の実践
- (4) 児童生徒が主体的に取り組むことを目指した、授業とつながりのある宿題(予習・復習)の設定
- (5) 各種研修会等で各校の取組の共有を図り、他校の好事例の実践

子どもたちの未来のために

グローバル化やAIなどの技術革新が急速に進む予測が困難であるといわれるこれからの時代において、子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら判断して行動できる力が求められます。井原市立の学校においても、子どもたちが「どうすればいいだろう」「こうしたらできそう」と自らの考えをもち、その考えを友達との対話を通して広げ深めていく授業が展開されています。そのような子どもたち主体の授業の中で、この先必要とされる自ら課題を見つける力や自ら判断し行動する力を着実に身につけてほしいと思っています。

また、子どもの成長には家庭と地域の協力も欠かせません。ご家庭において、学校で学んでいることや学校での活動、将来のことについてお子様と話をしたり、考えたりしてみてください。



いばらっ子生活リズム向上プロジェクト

令和6年度 生活習慣に関するアンケートの結果から
(実施期間: 令和6年4月～6月)

朝食摂取率



朝食を毎日食べるいばらっ子

未就学児・・・97.8%
小学生・・・92.9%
中学生・・・88.4%

井原市では、朝食摂取率100%を目標にしています。適度な運動、早めの夕食、就寝で「朝食を食べたくなるリズム」をつくりましょう。



一日の運動時間(学校園以外で)



しっかり体を動かすいばらっ子

各学校園では、学校(園)単位、学級単位で種目を決めて記録に挑戦する、「みんながチャレンジランキング」にも取り組み、楽しく体を動かすことができるようにしています。しっかり身体を動かすと、よく食べ、よく眠ることができるといふ好循環をつくっていききたいところです。

携帯電話保有率と使用率



携帯電話保有率と使用率

5年前の調査時に比べ、小学生、中学生とも保有率、使用率が大幅に増えています。

さらに、小中学校では、一人一台端末やパソコンを家庭学習でも使っていると思います。「目を画面から30cm以上離して使う」、「30分に1回は、20秒以上画面から目を離して遠くを見る」、「寝る1時間前からは、利用を控える」などに気を付け、家庭で使用するルールを決めて上手に利用しましょう。

《ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業より》

井原のおしごとって「すごい」「楽しい」!!



▲アルミ溶解炉を見学



▲パワーショベルを運転



▲参加者が作成した自由研究

子どもから大人まで幅広い人たちに本市の地場企業・事業所や産業の魅力や体験・発見してもらおうと、井原商工会議所との連携により夏休み特別企画として「井原おしごと探検ツアー(7/30)」と「井原おしごと体験フェス(8/10)」を初開催しました。

「井原おしごと探検ツアー」には、14家族・33名が参加し、市内3事業所を実際に訪れ、工場見学やワークショップ等を通して本物にふれる貴重な体験をしました。また、「井原おしごと体験フェス」には、200組・600名以上が参加し、デモンストラクションやアルミ合金製造、はたらくるまの試乗など30を超えるブースでおしごと体験を楽しみました。

参加者からは、井原のおしごとの楽しさや素晴らしさはもちろん、働くことの大切さや大変さ気づくよい機会となり、次の開催を楽しみにしているなど、ご好評の声を多数いただきました。

英語指導助手(ALT)を紹介します!

8人の英語指導助手が小学校、中学校などで英語指導に携わっています。

- トリステン・ライオンズ先生 …… 高屋・美星中学校、市立高校、大山塾
- ニコラス・バドバノ先生 …… 木之子・芳井中学校、市立高校
- ジェラルディン・レボリドン先生 …… 井原中学校
- オルランド・シバン先生 …… 高屋・西江原小学校
- アンジェリック・ディエロ先生 …… 大江・青野・美星小学校
- ハーマン・クトワン先生 …… 稲倉・県主・木之子・荏原小学校
- アシュリー・フジタ先生 …… 荏原・出部小学校
- アダム・チャン先生 …… 野上・井原・芳井小学校



よろしくお願いします!

◆ 特別展 ◆

「平櫛田中の芸術展—その全貌」を開催中

平櫛田中美術館では、美術館がリニューアルオープンして初となる、待ちに待った平櫛田中の特別展を開催しています。大作『鏡獅子』と共に、全国各地から一堂に集めた名品約70点を全館展示しています。展示作品の中で、平櫛田中が若い頃である明治・大正時代に制作した作品が約15点あり、今回の展示の見どころです。特に田中が27歳で制作した『樵夫』は、現存する木彫作品の中でも古く、貴重です。顔のしわや衣服の起伏の細部まで丁寧に表し、見る人を圧倒します。この頃から木彫制作の高い技術を持っていたことが分かります。

この特別展は12月8日まで開催しています。この機会にしか見ることができない作品がたくさんありますので、ぜひ平櫛田中美術館でご鑑賞ください。

平櫛田中作 『樵夫』 明治32年 個人蔵



平櫛田中美術館 来館者5万人達成

8月24日、リニューアルオープンより来館者5万人を達成し、記念セレモニーを開催しました。2月の『鏡獅子里帰り』効果もあり、県内外より多くの方にお越しいただいています。

現在、特別展「平櫛田中の芸術展—その全貌」を開催していますのでこの機会に、新しくなった美術館へぜひ足をお運びください。



文化協会 70周年記念事業

文化協会は、昭和30年に創立されました。本年、70周年の節目を記念し、「未来につなげよう!井原の文化」をテーマに、さまざまな事業を展開しています。

5月25日(土)には、アクティブライフ井原において記念式典を開催し、文化協会は、今後も様々な状況が訪れても柔軟に対応し、井原の文化を次世代に継承したいと会員相互に確認しました。また、記念講演会では井原市出身のお笑い芸人、ブロードキャスト!!の房野史典さんに中世と井原地方について、わかりやすくお話しいただきました。7月4日(木)~6日(土)には東京方面へ文化を訪ねる旅を行い、井原市ゆかりの偉人の足跡を訪ね、訪問先では学芸員さんの説明を聴くことができ、参加者の皆さんに喜んでいただきました。

今後も70周年記念誌や合同文集「茨VI」の発刊、秋川雅史コンサートの開催(11月23日)など実施してまいります。

井原市文化協会70周年記念式典



井原市教育委員会便り と も な び

- 発行 井原市教育委員会
- 編集 教育総務課
- 住所 井原市井原町311-1
- TEL 0866-62-9531 FAX 0866-62-0332
- メール ksoumu@edu.city.ibara.okayama.jp



B&G 井原海洋センター リニューアルオープン

井原海洋センタープールは、大規模改修工事が完了しリニューアルオープンしました。

令和6年4月21日(日)には、記念事業として、シドニー五輪100m背泳ぎ銀メダル400mメドレーリレー銅メダルの中村真衣さんに泳ぎ初めと水泳の指導をしていただきました。

井原市スポーツ フェスティバル2024

令和6年10月6日(日)井原運動公園において、井原市スポーツフェスティバル2024が開催されました。



市内外より、低年齢から高齢者まで約600名の方に参加していただき、スポーツの秋に、気持ちの良い汗を流していただきました。



奨学資金 — 次代を担う井原の学生を応援します —

●井原市奨学資金貸付

教育委員会では、経済的事情により修学困難な学生を対象に奨学資金の貸し付けを行います。

【貸付対象】

- ・市内に住所を有しており、高等学校、大学、またはこれに相当する学校に在学している人等
- ※日本学生支援機構など、他から奨学資金の貸し付けを受ける人は対象外です。

【貸付金額】

- ・大学またはこれに相当する学校 ……月額5万円
- ・高等学校またはこれに相当する学校…月額1万円

【奨学資金の返還】

- ・貸し付けた奨学資金は、卒業してから1年後、貸付期間の3倍の期間で返還

●返還の特例●

奨学資金を借り受けた人が、卒業後、返還期間満了まで市内に居住または、市内の事業所などに勤務すれば、申請することによって返還の特例(全額免除)が適用されます。

※令和7年度の申請受付は、4月1日(火)~5月30日(金)の予定です。



●井原市奨学金返還支援補助金

日本学生支援機構第一種奨学金を借りて大学等で修業し、卒業後、市内に定住などを行っている方に奨学金の返還金額の一部を補助します。

※正式な奨学金借入の申し込みを行う前に手続きが必要です。

【事前登録対象】

- ・大学等に進学する本人もしくは保護者等が市内に住所を有している人
- ・日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受ける見込みである人
- ・大学等を卒業後、市内に定住し、かつ就労する意思のある人

【補助金額】

- ・月賦返還額(上限15,000円)×12か月
- 【最長72か月・最大108万円】

(令和6年10月現在)

申請方法 教育総務課に備え付けの申請書にその他必要書類を添えて申し込み

※詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】4階、教育総務課(TEL62-9531)

